

特別貸与(地域枠)

学年	概要	対象者	備考
1年生	① へき地医療研修(事前学習及び体験実習)	全員	
3年生	② 地域医療に関する講義・ワークショップ	全員	
5年生	③ 指定医療機関の見学	希望者	
	① へき地医療研修(体験実習のみ)	へき地医療希望者のみ	自治医大と合同
6年生	④ 都の医療施策に関する講義(小児・周産期・救急)指定勤務説明会	全員	一般奨学金と合同
卒後1年目	⑤ キャリア相談会	全員	

一般貸与

学年	概要	対象者	備考
6年生	④ 都の医療施策に関する講義(小児・周産期・救急)指定勤務説明会	全員	特別奨学金と合同
卒後1年目	⑤ キャリア相談会	全員	

① へき地医療研修

特別1・5年生

へき地医療に関する講義(体験実習の事前学習)

目的

へき地医療研修(体験実習)の事前学習として、東京都のへき地及びへき地医療の概要などについて学ぶ。

内容

【実施方法】 自治医科大学卒業医師の協力を得て東京都が実施

【研修内容】 自治医大卒業医による講演及び島しょ研修(体験実習)の事前学習
東京都におけるへき地医療の現状と課題、へき地医療に従事することを目指したきっかけ・動機、へき地医療の魅力、心に残る事例紹介 など

【実施規模】 半日(7月末)

へき地医療研修(体験実習)

目的

島しょ地域の住民との交流や医療の実験を経験させることにより、へき地医療における医療の実態、医師の役割とその重要性等を認識させ、東京都のへき地医療への理解を深めるとともに、研修を通して、学生間の交流及び仲間意識の醸成を図る。

内容

【実施方法】 へき地に所在する医療機関の協力を得て、東京都が実施

【研修内容】 島の概要説明(役場に依頼)、島内見学、診療所(病院)施設見学・概要説明・医師による講義
グループにわかれての実習(患者インタビュー、外来診療見学、訪問診療同行研修 など)
グループにわかれての報告書作成、研修報告会(グループ毎に発表)

【実施規模】 3泊4日(夏期休業)
※自治医科大学との合同研修の場合は4泊5日(特別奨学金の希望する5年生)

② 地域医療に関する講義・ワークショップ

特別3年生

目的

ワークショップを通して、学生間の経験の共有や仲間意識の醸成を図る。

内容

【実施方法】 杏林大学の協力により実施
※3大学が毎年持ち回りで担当

【研修内容】 * 第一線で活躍する医師による講演
小児、周産期、救急、へき地医療から2名
(当該分野の医師を目指した動機、当該分野の魅力、心に残る経験談)
* ワークショップ
・地域医療で求められている医師像
・奨学金医師としてどうキャリアアップしていくか など
* 病院見学

【実施規模】 半日(10~11月)

役割分担	都	大学
研修企画	○	◎
講演	○	◎
ワークショップ		◎
病院見学		◎
会場の確保		◎
学生への開催案内	◎	
学生旅費の支出	◎	

③ 指定医療機関の見学

特別5年生
(6年生の希望者も参加可)

目的

東京都が指定する医療機関を見学することで、将来の進路を考える機会とする。

内容

【実施方法】 東京都が指定する医療機関及び東京都医師会の協力を得て東京都が実施
【研修内容】 小児医療・周産期医療・救急医療に関連する施設の見学、病院概要の説明
【実施規模】 1日2~3施設(希望者のみ参加)
施設は学生の希望を踏まえて選定する。

④ 都の医療施策に関する講義・指定勤務説明会

特別・一般6年生

目的

指定勤務に関する理解を深めることで、将来、医師として都の地域医療に従事することの重要性等を認識させる。

内容

【実施方法】 東京都が企画し、講義等を実施
【実施規模】 半日(2~3月)
【研修内容】 * 指定勤務に関する説明(各種手続等)
* 現役医師による講演、シニアレジデント等との交流、病院見学など

⑤ キャリア相談会

特別・一般(卒後1年目)

目的

臨床研修終了後の自らのキャリアプランについて早期から意識づけるとともに、指定勤務の注意点等を確認する。

内容

【実施方法】 東京都が企画し、説明等を実施
【実施内容】 初期臨床研修終了後に従事予定の医療分野や就職活動状況等について、キャリアプランを作成・提出してもらい、それに基づき、今後のキャリアや指定勤務についての説明や意見交換等を実施
【実施時期】 3月頃
【実施場所】 対象者が参加しやすいよう、各大学等の協力のもと、都庁のほか初期臨床研修病院(本院)等を検討